適用日時	3.1	1.5.																																		
潤	Res) 1																																		
				編札														Γ	重が													除しる	「就業時			ζ ε
		数(β) (1ワッチ制)	П	11H #	3H]	[H0	通船員	1.54	1,64	1.79	1.24	2.04	2.14				22H #	[H9	[H9	通常員	7.60	1, 70	1.85	2.00	2.10	2, 20	2,35	2,55	2,80	後時間0H]の鎌合を築き 係数(β)である。し (β)の算出式」をも	7部		ッチ数	(小数3位因捨五人) 数は、2ワッチの		
				就業時間	[超勤時間	[深夜時間	報子・報告書	1,53	1.63	1.78	1.93	2.03	2.13		2.73	_		就業時間	[超過時間]	E	紹子・新松川 普	7.60	1.70	1.85	2.00	2,10	2.20	2,35	2.55	2.80	系核學園のH 系数(B (B)の	5、回禁に、		国数)÷ワ	(小数3年国数江、	
	供用係数		β)	10H	2H] [\rightarrow	普通船員 額	\dashv	253	1.67	1.82	+	-	2113	2, 37	2.63	ワッチ制	8)	20H	4H] [4H]	普通船員 額	247	1.57	2273	1.87	2677	2.07	2,22	2, 42	2,67	H[超點時間OH 深多時間的的影響時間別點員供用信	る。		5×深夜畔	(小数3 (小数3 金の比率をいう。 および深夜労働時間数は、
			共用係数()	就業時間	[超勤時間 深夜時間	[深夜時間	報子 連発 ・		1.53	1.67		+	2.02	S. L. L.	2.37	2.63	数(8)(2	4用係数()	就來時間	[超勤時間	[深夜時間	報子・報告書	1.47	1.57		1.87	267	2.07	2,23	2,42	2,67	開放時 8	ない場のとす		罰数+0.2	国供用係数 値合の比率 数および深
(訂正後)	業時間別の船員	員供用係	就業時間別の船員供用係数(β	16	\vdash	[H0	普通船員 經	1.31	LAL 1	1.56	1777	1.81	\dashv	2.26 2.25.25.25.2	就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)	就業時間別の船員供用係数(β	18H	+	3H] [8	200	1.35	1. 45	1.60	1.75	1.85	1.95	2. 10 2	2.30	2. 55	は、 鉄 等 は が が 下 が 下 が 下 が 下 が 下 が 下 が に が が に が が に が が に が に が に が に が に が に が に が が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	年上でいたのものも		×超點時間	所属した 監験を の の の の の の の の の の の の の		
改定後	就業時間	就業時間別船員供用係数(8)	就業時間	就業時間	[超勤時間	[深夜時間	0000	1, 31	\dashv	1, 56		1.81	-	-	2, 26 2	2.51	莱時間別船	就業時間	就業時間	[超勤時間	[深夜時間	-2in	1.34	1, 44		1, 74	1.84	1, 94	\dashv	2, 29	2.54 2	るかは	が記録を記述		-×割増対象賃金比×(1.22×超陽時間数+0.25×深夜時間数)+ワッチ数	おいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
另	- 4 m	船舶供用係数(α)と就		8H	\vdash	(H)	通船員報酬	1.20	1.30	1.45	-	-	\dashv	-	2.15 2	2.40 2	(α)と就る		16H g	0H] [∦	[H] [8	通船員網票	1.21	1.31	1.46	1.61	1.71	1.81	1.96	2.16	2.41	品質 は は が が め り が が り が り か り が り が り が り が り り り り が り り た り り た う た う た う た う た う た う た う た	文字 に対し から からから からする	用係数(8)の算定式	智对象質金	がある で で から で が の が が が が が が が が が が が が が が が が が
	別表-			就楽時間	[超勤時間	[深夜時間	振天・副衛 告: 1.20 1		1.30	1. 45	\dashv	\dashv	\dashv	1. 95	2.15 2	40	舶供用係数(α)と		就業時間	[超勤時間	[深夜時間	經·蘇姆 普遍	21	1.31	1. 46 1.	1.61	1.71 1.	1.81	1.96 1.	2.16 2.	2. 41 2.	無の理解を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	イマナーナーナー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー・オー	用係数(β	× × を を を を を を を を を を を を を	- 時間外半当および深夜半当を本 ・ 鉄線 8 時間の基今の約県供用係 ・ 労務単価に占める整確複合の ・ 分務単価に占める整確複合の ・ クアッチにおける懇適 ・ 中野の時間製フェス
				Table 1	£		美国等	\dashv	\forall	\dashv		+	+	+		0 2.	458		L		些	東田寺	5 1.					+				- 4 における就業時間別船員供用係数の 4 3 月かり 適用の製造対象員供用係数の 4 3 月かり適用の製造対象質像出やて、商財対象質の比に変更があった場合エルス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 ファーナス・8 カーナス・8 ファーナス・8 カーナス・8 カーナス・	に を を を が が が が が が が が が が が が が	間別船員供	β = β · +	日日金
			係 数 諮舶供用係 ランク (α)					1.65	1.80	2.05	2.25	2.45	2.65	2.90	3.20	3.70		放 船舶供用係数 7 (α)				1.65	1.80	2.05	2.25	2.45	2.65	2.90	3.20	3.70	金巻 一本に	に英間上別案別記	就業時間		割増対象質	
Ш		,						-	2	eo	4	LC	9	7	80	6		L	係 マ グ			-	6 0 60			C)	9	9 6		6	田 田	- 21 65				
			_	桃			\neg			#c											を を を を を を を を を を を を を を を を を を を									2 6						
				11H 備	3H] 0H]	[H0	普通船員	1.55	1,65	1.80	1.95	2.05	2.15	2,30	2.50	2,75			22H (備	[H9	6H]		1.62	1.72	1.87	2.03	22,13	2, 22	2,37	2.57	2.83	後時間OH]の場合を除き、 係数(B)である。した(B)の算出式」をもと	下記「蛛		ッチ数	(小数3位四捨五人) 1数は、2ワッチの
				就案時間	医勒時間	表夜時間	五部五		1.65	1.80	1.95	+	-		20	75			就業時間	日勤時間	[深夜時間	新	1,62				-		2.37	2.57	83					(小教3位国教社、)
]係数	(1ワッチ制)	(10H	2H] [超	张] [H0	通船員 翻	_	\dashv	1.68	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	+	中	0	20H	4H] [超	+	通船員 報酬	1.48	1.58	Н	1.88	2 867	\dashv	2.23	2.43	2,68 2,	影時間0H 深間別點員供用 問別點員供用 8員供用係数	3		25×超勤時間数+0.25×深夜時間	(小数3 (小数3 (小数3 (全の比率をいう。 数および深夜労働時間数は、	
	員供用	と就業時間別船員供用係数(β)	:用係数(β	就業時間	[超粉時間	E	報子 議員 普送		1,53	1.68		+	\dashv		2,38 2		X(B) (2	;用係数(B	就來時間	[超勤時間	[深夜時間	報子 報子 報子	1.48 1	1.58		1.88	1.98 1	2.08	2.23	2.43	2,68 2	を を を を を を を を を を を を を	ない場合にある。		1数+0.25	国供用係数 独合の比単数および深
(訂正前)	業時間別の船員		川の船員供	й Н6	\dashv	[HO	普通船員 縣	1, 32	1.43	1.57	\dashv	1.82		\dashv	2.27 2	2,53	員供用係數	就業時間別の船員供用係数(β	18H g	2H] [#	3H] [HE	普通船員 經	1.35	1.45	1.60	1.75	1.85	\dashv	2. 10 2	30	55	楽れ就時と大丈夫	400		X超野時間×	条を登録した路路を発行した路路をなない。
改定前 (別表一4 就業時間		就業時間別の船員供用係	就業時間		[深夜時間	報子報報 普通	1, 32	Jud3 L	1, 57	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	2.27	2.53	器配置當	就業時間別	就業時間	[超勤時間	[深夜時間	「株大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Н	1, 45	Н	1, 75	1.85	1.95	2,10 2.	2,30 2.	2,55 2.	数(8)は、整合もとに算出さ	係が過機した別談算		=	教験を持ちては、ないのでは、ないのでは、ないののでは、ないのとなったがのとなった。とは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
极				8H 数	\dashv	[H0	通船員。 链形	1.20	1.30 1	1. 45				2. 15 2.	40	船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β)(2ワッ		16H 就		\vdash	_	21	1.31	1.46	1.61	1.71 L	1.81	1.96 2.	2.16 2.	2.41 2.	ない。ないないないないないないないないないないないないないないないないないない	のをす関わる	の算定式	割增対象質金比×	なの占り数 よ場めッケ び合るチャ 深の倒にな	
		船舶供用係数(α)		就業時間		E	個子 連 強 強 強 強 強 強 強 強 強 通 が に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に る に に に に に に に に に に に に に	+	1.30 1.	1.45 1.	\dashv	\dashv	+	1.95 1.	2.15 2.	.40 2.	供用係数		就業時間 1	[超勤時間	深夜時間	經子高級 普通船員	1.21 1.	1.31 1.	1.46 1.	1.61	1.71 1.	1.81	1.96 1.	2.16 2.	2.41 2.	時間の出版を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を)とする。 (お) の 体田式」 (A) の 体田式」 数水土等も対象と	用係数(8)の算	M M W W W W W W W W W W W W W W W W W W	間業務だ計 本8単しの 半時値、専 当同に2回
		船舶		1/4	数	監	*X	1. 65 1.	\dashv			+				2.	AS 88				1-											けかならる。	田子のものでおりている。日子のとのできる。大田家等には、大田家等には、大田家等には、大田家等には、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、日本のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、日のでは、日のでは、日のでは、日のでは、日のでは、日のでは、日のでは、日	100 M	= B 0+	のとは
Ш				船舶供用係 (a)					1.80	2.05	2, 25	2.45	2.65	2.90	3, 20	3.70				容器	(α)		1.65	1.80	2.05	2, 25	2.45	2.65	2.90	3.20	3.70	を しらし は 本本	別案別記 途時記 事間員員	就業時間	В	對極対線質
			1	係 ラ 数 ク					2	33	44	rc.	9	2	8	6				係った数グン		1		2	3	4	2	9	2	8	6	-:	25 85			
			_	27	11 1		_	-	_	_	_	_	_	_	_	_							_		Ш			_	_	_	_	紐				